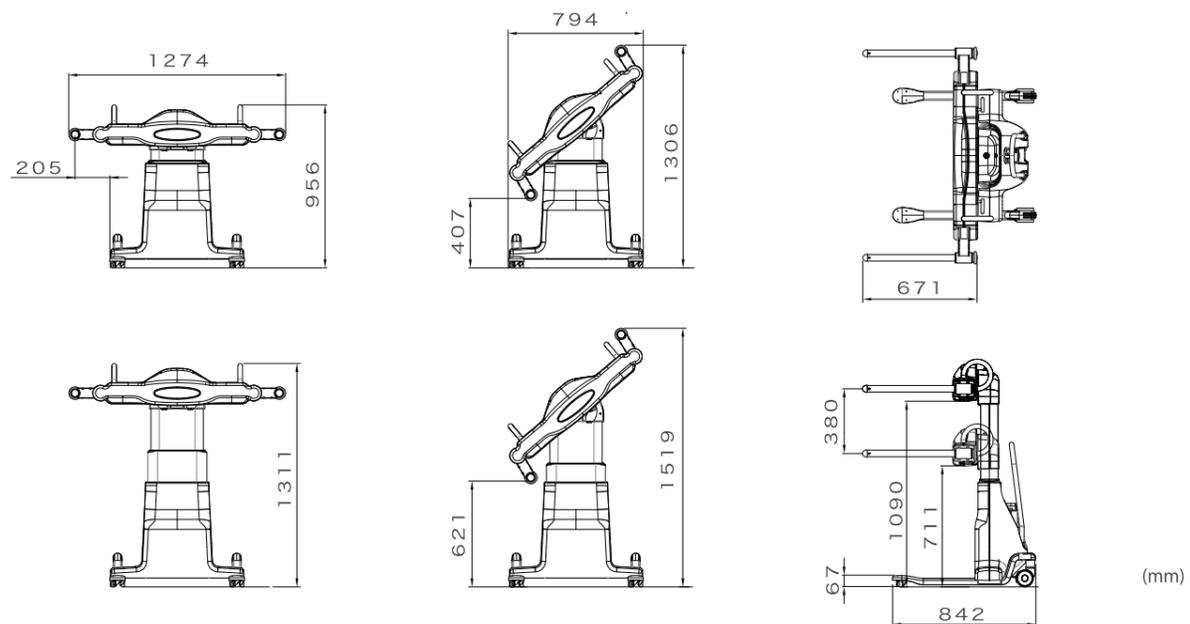




ROBOHELPER SASUKE

ロボット介護機器：移乗アシスト

仕様



SASUKE 本体

品名	ロボット介護機器：移乗アシスト ROBOHELPER SASUKE
型式	RS1-12Y-B
総重量 (標準バッテリー装着時)	70kg
適応荷重	120kg 以下
適応身長	180cm 以下 (140cm 以上)
安全規格	ISO13482
使用環境温度	0 ~ 40°C
使用環境湿度	20 ~ 80% (結露なきこと)
耐用年数	5年

専用バッテリー／専用充電器

専用バッテリー	型式	MBP-1
	種類	リチウムイオン電池
	容量	25.2V-5.7Ah
	重量	1.6kg
専用充電器	寿命	3年 (ご使用状況や保管条件などによる)
	形式	スタンド式 (据置型)
	電源	AC100V 50/60Hz
	充電時間	約 2 ~ 4 時間

※製品仕様は改良などにより一部変更になる場合がございます。
※SASUKE は朝日インテック株式会社の登録商標です。

製造元：

マッスル株式会社 

〒541-0042 大阪市中央区今橋 2-5-8 トレードピア淀屋橋 6F

TEL 06-6229-9550 FAX 06-6229-9560

E-Mail healthcare@musclecorp.com

URL <http://www.musclecorp.com>

お問い合わせ：



 マッスル株式会社



ROBOHELPER SASUKE

ロボット介護機器：移乗アシスト



「お姫様抱っこ」のようにシートごとベッドから抱き上げます。
介護をうける方の体重を SASUKE が担います。

臥位～座位までの適した姿勢に操作ができるため、多様な車いすでご使用いただけます。
車いすに深く着座することができるため、着座後の姿勢調整の負担が軽減されます。

介護をうける方もおこなう方も やさしさと安心を

ロボヘルパー SASUKE は、ベッド⇔車いす間の移乗をアシストします。

介護アシスト・ロボヘルパー・サスケは、「介護をうける方もおこなう方も、やさしさと安心を。」をコンセプトに世界で活躍するプロダクトデザイナー喜多俊之氏のこだわりのデザイン。暮らし空間にマッチするデザインで、これからの介護を実現する世界の新製品です。



専用シート全面で身体を支えられるため、体圧が分散されやすく、移乗時の安定性を得やすくなります。身体上の空間での機器等の取付けがないため、視野をさえぎらず開放感があります。

対面で手の届く位置でベッド⇔車いす間を自由に移動できます。
お互いの顔を見ることができ、介護をうける方もおこなう方も安心です。



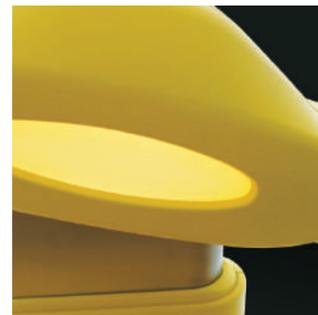
充電式バッテリーを使用しています。コードレスであるため自由に動かすことができます。



アームが単体でスライドするため、専用シートへの挿入が簡単です。



動かしたい方向へ操作レバーを動かすとアームを自分の腕のように動かせる技術「ハプティックインターフェイス」を採用しています。



ぬくもりを感じさせる優しい光が、安心感を醸し出します。



アームは左右に回転し、最適な着座姿勢をとることができます。



アームは上下に昇降し、ベッドや車いすの高さに合わせることができます。



ベッドの下に脚を入れて使用します。低床ベッドにも対応します。ベッド下に70mm以上の空間が必要です。



キャスターはロック式です。ロックのオン・オフも簡単におこなえます。



身体に触れる部分は縫い目のない一枚仕立てです。丈夫で柔らかい、通気性のある生地を使用しています。安心ホルダーで肘部を優しく包み込み、転落や腕のはさみ込みを防ぎます。



標準型車いす、リクライニング型車いす等様々な車いすへの対応ができます。専用シートは、スタンダードMサイズその他、オプションでLサイズがあります。

● 介護をうける方のために・・・

- ・シート全面で身体を支えて体圧を分散。
- ・揺れの少ない安定した移乗。
- ・身体上での機器の取付けがなく視界を遮らない開放感。

● 介護をおこなう方のために・・・

- ・腰部への負担を軽減。
- ・操作や手順はとてもシンプル。
- ・臥位～座位までの適した姿勢に保持。
- ・幅広い種類の車いすに対応可能。
- ・着座後の姿勢調整が殆どなく負担が軽減。
- ・一人でも、軽い力で移乗介助が可能。

「移乗介助をより良いコミュニケーションの時間に」

- ・手元を見なくても操作可能。移乗介助に意識を向けられます。
- ・双方の心身の負担が軽減。より良いコミュニケーションが期待できます。



デザイン
喜多俊之 design by Toshiyuki Kita

1969年よりイタリアと日本でデザインの制作活動を始める。家具、家電、ロボット、家庭日用品に至るまでのデザインで、多くのヒット製品を生む。作品の多くがニューヨーク近代美術館など世界のミュージアムにコレクションされている。また、クリエイティブ・プロデューサーとして多方面で活躍する。日本グッドデザイン賞審査委員長を務める(2004年～2006年)。大阪芸術大学教授。イタリア「黄金コンパス賞(国際功労賞)」など受賞多数。